

日臨技主催 世界糖尿病 Dayフォーラム

平成 21 年 11 月 15 日(日)に、日臨技主催による糖尿病 Day フォーラムが開催される。今回は、東日本会場を東京で、西日本会場を大阪で同時開催する。

これは、世界糖尿病 Day に合わせて公益事業の一環としたもので Big なイベントとなる。

◆ 東日本<東京会場>

臨床検査技師による糖尿病予防 フォーラム in 東京 2009

◇日時：平成 21 年 11 月 15 日(日)

◇会場：東京ステーションコンファレンス サピアタワー 6 階フロア

◇プログラム

1) 市民公開講演会

第一部 (10:15-12:00)

『患者の立場から』

三ツ橋美幸・自治医大さいたま医療センター

『臨床医の立場から』

門脇 孝・東京大学大学院医学系研究科糖尿病

第二部 (13:00-15:00)

パネルディスカッション『糖尿病指導の実際と問題点』

高島吉則・社会保険桜ヶ丘病院

中村 康・東京都済生会中央病院

厚田幸一郎・北里大学薬学部臨床薬学教育センター

河辺信秀・横浜船員保険病院

金子喜美江・小川赤十字病院

2) 一般市民体験コーナー

血糖検査、検査相談(臨床検査技師)、糖尿病・健康相談(臨床医)

◆ 西日本<大阪会場>

臨床検査技師による糖尿病予防啓発 フォーラム in 大阪 2009

◇日時：平成 21 年 11 月 15 日(日)

◇会場：大阪国際交流センター

◇プログラム

1) 講演会

第一部 (14:05-15:05)

『日本と国民の健康づくり』

～イキイキ百歳をめざして～

都島基夫・慶応大学医学部内科

『臨床検査から見た糖尿病の予防』

～子どもから大人まで～

佐藤利彦・大阪市立北市民病院副院長

第二部 (15:15-16:00)

パネル討論会『糖尿病とともに歩む』

～がんばらない あきらめない～

都島基夫・慶応大学医学部内科

佐藤利彦・大阪市立北市民病院副院長

小宮山恭弘・大阪鉄道病院臨床検査室

2) 健康相談体験 (13:00-16:00)

(1) 相談コーナー

検査相談(臨床検査技師)、糖尿病療養指導士資格取得相談(糖尿病療養指導士)、

運動相談(理学療法士)、未病相談(未病専門医)、

栄養相談(管理栄養士)、臨床検査技師資格取得相談(資格取得機関教官)

(2) 体験コーナー

自己血糖測定、頸動脈エコー、骨密度、

ABI/TBI 測定、体脂肪、フットケア、

アロマセラピー

(3) 健康食品コーナー

糖尿病食 サンプル試食会

第 56 回 臨床検査技師国家試験

厚生労働省から、第 56 回臨床検査技師国家試験の実施要綱が発表された。これは、臨床検査技師等に関する法律第 12 条の規定により施行されるもので、試験期日は、平成 22 年 2 月 24 日(水)である。

受験資格は(1)：学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 90 条第 1 項の規定により大学に入学することができる者で、文部科学大臣が指定した学校又は厚生労働大臣が指定した臨床検査技師養成所において、3 年以上、法第 2 条に規定する検査に必要な知識及び技能を修得したもの(卒業見込みを含む)が基本となるが、その他、医学又は歯学の正規の課程を修めて卒業した者(卒業見込みを含む)等であるが、外国の法第 2 条に規定する検査に関する学校若しくは養成所を卒業し、又は外国で臨床検査技師の免許に相当する免許を受けた者であって、厚生労働大臣が、(5)：(1)に掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認めたものとなっている。更に、(5)に該当する者が提出する書類としては、臨床検査技師国家試験受験資格認定書の写し(地方厚生局又は地方厚生支局に当該認定書の原本を提示し、原本照合を受けたもの)となっている。

この<同等以上の知識及び技能を有すると認めたもの>は誰が認めるのか？また、<臨床検査技師国家試験受験資格認定書>とは？

看護師国家試験に関しては日本語の検定が必要とされ、今年度の結果では<合格者>は出なかったようである。

臨床検査技師の国家試験に関しても、今後、新型インフルエンザのようなく波>が襲ってくるかも知れない。その防波堤を築くのも職能団体である技師会の大きな仕事であろう。

第 6 回 アジア臨床検査研修

投稿

小鳥の囀る音と霧が立ち込める中、タイ国バンコクから東南 120km に位置するラヨン県の地で、第 6 回和臨技主催のアジア臨床検査研修が始まった。

この研修は、(社)和歌山県臨床衛生検査技師会が主催する HIV/AIDS に特化した感染対策やサーベイランスに取り組める実践的で指導力のある人材を育成する海外研修事業である。

本研修目的は、一つは HIV/AIDS に関する疫学や感染対策を学ぶ事、二つ目は医学的な研究を論理的にデザインする Research Proposal 作成を習得する事、三つ目はタイの技師と共に学びネットワークを作る事 の 3 つの柱からなり、日本人 9 名、タイ人 3 名の計 12 名が参加し 3 日間の日程で行われた。

研修は、タイにおける HIV の感染状況やサーベイランス、HIV 検査の EQA、クオリティアシユアランス等の基礎について講義を受けた後、実際にエイズ患者修道院、タイ NIH、感染症(エイズ)専門病院のフィールドに行き現状を確認した後、グループに分かれ研究テーマを決め、Research Proposal を作成し発表し評価を受けるという内容であった。

本研修は、机上の学問ではなく実際に感染爆発を起こしたタイ国に行き、フィールドに出て！見て！感じる！事をメインとしている。研修生は、文化も習慣も異なる異国の地に行き、英語のシャワーを浴び連日深夜まで討論し Research Proposal を作成した。

それぞれがコミュニケーションスキルの重要性を痛感したことと思う。

当会は 9 年前から海外人材育成事業に取り組んでおり、現在までに 55 名の修了者を出し、さまざまな分野で活躍している。本研修が今後も引き続き開催され、日・タイの臨床検査技師のための“学びの場”となり、国内・国外を問わず感染症対策に寄与でき、さまざまな場面でリーダーとなり得る臨床検査技師が多く輩出されることを期待している。



【研修コーディネーター 玉置達紀】